

子育てファーストのまちづくり

子どもたちの未来は、銚子の未来そのものです。「すべての子どもをすべての市民が支える」。その思いを共有し、子育てファーストのまちづくりを進めます。

子育て支援

新年度は、今後5年間の子ども・子育て支援の方向性を示す『第3期銚子市子ども・子育て支援事業計画』を策定します。すべての子どもを対象に教育・保育・子育て支援事業の充実を図ります。
子ども未来基金などを活用し、新年度は学校給食費の無償化を実施します。

ふるさと納税の推進

ふるさと納税は、子育て支援などの自主財源を生み出し、地場産品のPR、販路の拡大につながることも、新たな産業を創出し、地域経済を活性化する重要な制度です。ふるさと納税の寄附をきっかけに銚子市に興味を持っていただくことで、関係人口の増加にもつながります。新年度は目標値である10億円をめざします。

広域幹線道路網の整備

小見川大橋から利根川大橋に至る一般国道356号・小見川東庄バイパス(8.7km)が3月19日から全線供用開始となりました。銚子市長塚町から利根かもめ大橋までの銚子バイパス(8.2km)は今春秋、開通予定です。銚子市小船木町から利根川大橋までの東庄銚子バイパス(8.6km)について、バイパス区間(4.4km)と現道拡幅区間(4.2km)を組み合わせて

保育所・認定こども園・幼稚園に通園するすべての子どもの給食費を対象に月額6,500円を市が負担し、保護者負担の軽減を図ります。

子ども支援

すべての子どもたちが、生まれ育った環境に関わらず、夢や希望を持つことができる社会を実現し、「子どもの貧困」を解消するためには、子育てや貧困の問題を家庭のみの責任とするのではなく、社会全体で解決することが重要です。新年度新たに『こどもの貧困対策推進計画』を策定し、「教育の支援」

整備する道路計画が千葉県から示されました。

東総台地区広域営農団地農道は3月21日に全線開通しました。農産物の流通、交通環境の改善、災害時の緊急輸送道路として、千葉県と連携しながら適切な維持管理を行います。広域営農団地農道から続く主要地方道銚子海上線の清滝バイパスも3月13日に開通しました。広域ごみの運搬や旭中央病院へのアクセスの向上が図られます。

銚子連絡道路については二期区間(横芝光町・匝瑳市)が3月31日に開通しました。国道126号八木拡幅については早期開通に向けて、千葉県に事業推進の協力をしてまいります。

今後も市民の皆さまとの対話や連携を通じて、さらなるパートナーシップを築き、『総合計画』のビジョンである「握手のまちづくり」に全力で取り組んでまいります。

「保護者の就労の支援」「生活の支援」「経済的な支援」を柱とした総合的な支援を実施します。

子どもの教育

学校教育については、令和9年度開校予定の(新)銚子中学校の校舍新築等整備に向けて、工事の契約締結及び着手のための準備を進めていきます。

企画画室 ☎(24)8904



楽しいこと、のーほど!



黒生の風物詩
おたち
御太刀祭

3月市議会でも発表したものです。(道路整備の内容は時点修正しました)紙面の都合で一部を掲載しました。全文は市役所3階企画室で閲覧できるほか市ホームページに掲載しています。